

JFM だより

Vol.21

INDEX

融資の実	千葉県木更津市 金田配水場	——	P01
がんばる公営競技	高知けいば	——	P05
	JFMトピックス	——	P07
自治体ファイナンスよもやま話		——	P11
	地方支援ダイアリー	——	P13
	基金運用ひとくちメモ	——	P15
	人事交流日記&ふるさと紹介	——	P17
	編集後記	——	P18
	機構からのお知らせ	——	P19
	私たちもJFM債買ってます！	——	P19

今号の表紙

千葉県木更津市 金田配水場





Feature

千葉県木更津市
金田配水場



開発の進む金田地区への 安定給水を担う配水場

東京湾アクアラインの着岸地である木更津市金田地区は『かずさアクアシティ』として特定土地区画整理事業による開発が進んでいます。この地区への安定給水のために金田配水場が建設され、平成27年5月に供用を開始しました。耐震性に優れたステンレス製配水池を採用し、災害時にも給水拠点として重要な役割を担います。



ステンレス配水池

木更津市の水道のあゆみ

「木更津市の水道の歴史は、昭和8年に木更津水道株式会社が創設されたことに始まります。昭和21年には旧海軍施設を使用した市営水道を開始し、昭和31年に事業公営の原則に基づき、木更津水道株式会社を買収・一体化し、公営企業として新たなスタートを切りました。昭和55年からは水道用水供給事業者である君津広域水道企業団からの受水を開始し現在に至っています。現在では4カ所の浄水場(上烏田浄水場、中台浄水場、富来田第1、第2浄水場)と3カ所の配水場(伊豆島配水場、かずさ配水場、金田配水場)を設置し、平成27年度の年間給水量は約1,675万 m^3 、給水全体の約84%は企業団からの受水、約16%が自己水(井戸水)となっています。」(木更津市水道部/「」内のコメント以下同)

河川の水や井戸水などを採取し、浄化して上水道へ供給する浄水場と、浄水場で浄化された水を受水・貯留し、上水道へ供給する配水場を水運用総合センターで集中管理し、安定した稼働を保っています。

千葉県の新たな玄関口となる金田地区

金田配水場は、発展が著しい木更津市金田地区への安定給水のために建設されました。

「東京湾に面した金田地区は、神奈川県川崎市と木更津市を結ぶ東京湾アクアライン(平成9年開通)の着岸地であり、『かずさアクアシティ』として、東西2地区の特定土地区画整理事業による開発が進んでいます。『かずさアクアシティ』は、千葉県の新たな玄関口として、高速バスターミナル、流通、商業、文化及びレジャー施設とともに、多様なライフスタイルに対応した住宅地が調和する、計画人口約17,000人の多機能複合型の都市を目指しており、すでに出店舗数200超の首都圏最大級のアウトレットモール(平成24年開業)をはじめとする大型商業施設が建ち並び、賑わいを見せています。」



金田配水場竣工式



常設された応急給水設備



金田配水場ポンプ棟

安全で災害に強い 木更津市の水道づくり

地球温暖化等による集中豪雨や渇水、地震等の自然災害が頻繁に発生する中、金田配水場は、災害発生時の給水拠点として機能する災害に強い配水場をコンセプトとして建設されました。

「金田配水場は、金田地区の経済活動や社会生活を支える重要なライフラインとして機能しています。配水池には、角波型に成型されたステンレス鋼板を側板に用いることで、優れた耐震性と水密性を確保しています。ステンレス製はコンクリートを構造体としたRC、PC製配水池に比べて維持管理費が抑えられ塩害を防ぐメリットもあります。」この配水池は金田地区の一日最大給水量の12時間分である3,200m³の浄水を貯留する能力を有しており、内部はメンテナンスを考慮して1,600m³ずつの2槽構造となっています。

「配水地には、ポンプ棟に送る水を地震発生時に自動で遮断する緊急遮断弁設備を設置しています。水の流出を防ぐことで、供給地域のための水を確実に貯留することができます。また、配水場内には応急給水設備を常設し、給水車へのスムーズな供給を可能とします。更にポンプ棟内には自家発電設備も備え、災害時や停電時でも安定した配水を行います。」

水道使用量は時間帯や季節により大きく変動することから、配水設備には、需要量に応じてポンプの回転数を制御して効率よく配水することができるインバーター制御方式を採用し、省エネで効率的な運転を実現しています。水質に関しては、薬品注入設備において、次亜塩素酸ナトリウムを自動で注入することにより残留塩素濃度を0.5mg/Lに維持し、常に安全な水を供給しています。

将来の拡張を見据えた設計

金田配水場は金田地区の将来における配水量の増大に備え、敷地内に更に2つの配水池を新設できるスペースがあり、3池で合計8,850m³の浄水を貯留することが可能となります。それに合わせ、ポンプ棟も設備の増設を見据えた設計となっています。「金田配水場は、市民の暮らし、社会を支える“水”を通じて、金田地区の更なる発展に貢献していきます。」



自家発電設備



配水設備



薬品注入設備



配水池を新設できるスペースを設けた敷地

様々な魅力にあふれた木更津市

千葉県木更津市は、南房総の東京湾岸に位置する温暖なまちです。空気が澄んだ日には富士山を望むことができます。

木更津(きさらづ)の語源は古事記の「きみさらず伝説」にあると言われるほど歴史あるまちです。江戸時代には町人文化が栄え、木更津を全国的に有名にした歌舞伎「切られ与三郎」や木更津甚句が誕生しました。また、港町としても栄え、かつては横浜や川崎へ行くカーフェリーも航行していました。その後、幹線道路が整備され、現在では館山自動車道・首都圏中央連絡自動車道・東京湾アクアラインが交わる交通の要衝となっています。

童謡「証城寺の狸ばやし」の舞台としても有名ですが、近年では、テレビドラマ「木更津キャッツアイ」や人気ロックグループ気志団結成の地としても注目を浴びています。

また、東京湾アクアラインがコースの一部となる「ちばアクアラインマラソン」や、日本で唯一陸上自衛隊駐屯地内で行われる「木更津トライアスロン」、木更津名産のブルーベリーを食べながら走るユニークなリレーマラソン「木更津ブルーベリー

ラン」などを開催し、スポーツイベントにも力を入れています。

平成28年3月に策定した「木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「オーガニックなまちづくり」を掲げています。「オーガニック」とは、健康で持続可能な暮らしを守るため、環境や社会に配慮し、自ら何ができるかを考え、実際に行動する生き方です。平成28年11月にはキックオフイベントとして、「木更津オーガニックシティフェスティバル」が開催され、将来のまちづくりに向けたトークショーやワークショップで盛り上がりました。木更津市水道部もこのイベントの出展ブースにおいて、「クリーンなエネルギーとしての小水力発電」と銘打った送水管の高低差を利用した水力発電のモデル事業を発表し、今後、実現に向け検討をすることとしました。

『かずさアクアシティ』などの開発事業、インフラ整備、大型商業施設の誘致など、積極的なまちづくりなどにより、木更津市は人口が増加傾向にあります。それは、様々な人にとって暮らしやすく、将来性豊かなまちとして評価されている証でもあります。



中の島大橋



木更津トライアスロン

千葉県木更津市

人口 134,666人(平成29年2月1日現在)
世帯数 60,143世帯(平成29年2月1日現在)
面積 138.95km²

